

Gait assessment and intervention tool (日本語版)

氏名 _____

日時 _____

検査者 _____

診断名 _____

評価側 _____

歩行補助具/装具/介助 _____

立脚・遊脚期

スコア

1. 肩の肢位

0 = 正常

1 = 異常位 (該当するものを全て選択 下制 挙上 内転 外転)

2. 肘関節屈曲

0 = 肘関節屈曲 $< 45^\circ$ (正常 = 10° 以下)

1 = 肘関節屈曲 $45^\circ - 90^\circ$

2 = 肘関節屈曲 $> 90^\circ$

3. 上肢の振り

0 = 正常

1 = 異常 (上肢の振りの減少、または欠如)

4. 体幹アライメント (静的)

0 = 正常な直立姿勢 (体幹が屈曲, 伸展, 側屈していない)

1 = 静的に体幹が 屈曲 もしくは 伸展

2 = 静的に体幹が 右側屈 もしくは 左側屈

3 = 体幹が 屈曲 もしくは 伸展、かつ 右側屈 もしくは 左側屈

立脚期

5. 体幹肢位/動的 (矢状面)

0 = 正常 (静止時のアライメントを保持している)

1 = 体幹が 屈曲 $< 30^\circ$ もしくは 伸展 $< 30^\circ$

2 = 体幹が 屈曲 30° 以上 もしくは 伸展 30° 以上

6. 体幹肢位/動的 (前額面)

0 = 正常 (静止時のアライメントを保持している)

1 = 体幹が 右側屈 $< 30^\circ$ もしくは 左側屈 $< 30^\circ$

2 = 体幹が 右側屈 30° 以上 もしくは 左側屈 30° 以上

7. 体重移動 (頭部・体幹・骨盤の側方移動) (前額面)

0 = 正常な体重移動 (立脚肢で $\sim 25\text{mm}$ の移動)

1 = 体重移動の減少

2 = 体重移動がほとんどない、またはない

2 = 過度な体重移動

8. 骨盤位置（前額面）

- 0 = 正常（トレンデレンブルグ徴候なし）
1 = 対側の軽度の骨盤下制
2 = 対側の重度または急激な骨盤下制

9. 股関節伸展（矢状面）

- 0 = 正常（股関節屈曲 30° で踵接地、正中を經由し、立脚後期で股関節 20° 伸展）
1 = 立脚中期で正中になるが、立脚後期ではそれ以上の股関節伸展を認めない
2 = 立脚期を通して異常（股関節が常に屈曲、または著しく伸展している）

10. 股関節回旋（前額面）

- 0 = 正常（正中を保持している）
1 = 異常、内旋
1 = 異常、外旋

11. 膝関節－初期接地期（矢状面） いずれかを選択： A B

A. 膝関節屈曲

- 0 = 正常（膝関節が正中、過伸展なし）
1 = 膝関節屈曲 $5^\circ - 15^\circ$
2 = 膝関節屈曲 $>15^\circ$ だが $<30^\circ$
3 = 膝関節屈曲 $>30^\circ$

B. 膝関節伸展

- 0 = 正常（膝関節が正中、屈曲していない）
1 = 膝関節過伸展 $5^\circ - 15^\circ$
2 = 膝関節過伸展 $>15^\circ$ だが 30° まで
3 = 膝関節過伸展 $>30^\circ$

12. 膝関節－荷重応答期（矢状面） いずれかを選択： A B

A. 膝関節屈曲

- 0 = 正常（ 15° まで膝関節屈曲する）
1 = 膝関節屈曲 $>15^\circ$ だが $<30^\circ$
2 = 膝関節屈曲 $\geq 30^\circ$

B. 膝関節伸展

- 0 = 正常（ 15° まで膝関節屈曲する）
1 = 膝関節屈曲せず、 15° まで膝関節過伸展
2 = 膝関節過伸展 $\geq 15^\circ$

13. 膝関節－立脚中期（矢状面） いずれかを選択： A B C D

A. 膝関節屈曲

- 0 = 正常（踵接地で膝関節が 4° 屈曲し、歩行周期の14%で 15° まで屈曲する）
- 1 = 立脚中期を通して膝関節屈曲 5° - 15° であり、中間位に達しない
- 2 = 膝関節屈曲 $>15^{\circ}$ だが $<30^{\circ}$
- 3 = 膝関節屈曲 $\geq 30^{\circ}$

B. 膝関節伸展

- 0 = 正常（踵接地で膝関節が 4° 屈曲し、歩行周期の14%で 15° まで屈曲する）
- 1 = 立脚中期を通して膝関節は伸展しているが、過伸展はしていない
- 2 = 立脚中期に 15° まで膝関節過伸展する
- 3 = 立脚中期に膝関節過伸展 $>15^{\circ}$

C. 膝関節屈曲から伸展までの移行

- 0 = 正常（踵接地で膝関節が 4° 屈曲し、歩行周期の14%で 15° まで屈曲する）
- 1 = 立脚中期の前半は正常に膝関節屈曲し、その後中間位まで伸展する
- 2 = 立脚中期の前半は膝関節屈曲し、その後制御されずに最大伸展位（正中またはそれ以上）まで膝関節伸展する（スナップバックではない）
- 3 = 立脚中期の前半は膝関節屈曲し、その後制御されずに、唐突に力強く最終可動域まで膝関節伸展する

D. 膝関節伸展から屈曲までの移行

- 0 = 正常（踵接地で膝関節が 4° 屈曲し、歩行周期の14%で 15° まで屈曲する）
- 1 = 膝関節が伸展したまま立脚中期に入り、その後屈曲するが制御内にある
- 2 = 膝関節が伸展したまま立脚中期に入り、その後屈曲し制御を失うが、再び制御を取り戻す
- 3 = 膝関節が伸展したまま立脚中期に入り、その後制御を失い膝が折れるため、代償的な戦略を要する

14. 膝関節－立脚後期／前遊脚期（踵離地から足趾離地）（矢状面）

- 0 = 正常（膝関節屈曲 35° - 45° ）
- 1 = 膝関節屈曲 $<35^{\circ}$ もしくは $>45^{\circ}$
- 2 = 膝関節屈曲 35° - 45° で、その後伸展する
- 3 = 膝関節が常に完全伸展している

15. 足関節（矢状面） いずれかを選択： A B _____

A. 足関節底屈

0 = 正常（踵接地で足関節は中間位で、立脚中期前に底屈 10° になり、踵離地では背屈 10° になる）

1 = 初期接地（踵接地含む）から立脚中期は正常だが、それ以降は底屈位である

1 = 初期接地は足底接地で、立脚中期前にわずかに底屈するが、それ以降は底屈位である

2 = 初期接地は足底接地で、踵離地まで足関節底屈位である

3 = 過度な足関節底屈で踵が接地しない

3 = 踵接地の有無に関わらず、過度に、さらに/または早期（立脚中期）に足関節底屈する（例：伸びあがり）

B. 足関節背屈

0 = 正常（踵接地で足関節は中間位で、立脚中期前に底屈 10° になり、踵離地では背屈 10° になる）

1 = 立脚中期直前までは正常だが、立脚中期後に足関節背屈 $>10^{\circ}$ になる

2 = 立脚中期から立脚後期（踵離地）で足関節背屈 $15^{\circ} - 20^{\circ}$ になる

3 = 立脚期を通して過度な足関節背屈 ($>20^{\circ}$)

16. 足関節回内（前額面） _____

0 = 正常（立脚初期にわずかに足関節内反/回外し、その後踵離地まで外反/回内する）

1 = 初期接地で過度に足関節内反/回外する

2 = 初期接地と立脚中期で過度に足関節内反/回外する

3 = 立脚期を通して過度に足関節内反/回外する

17. 足関節底屈－立脚後期/前遊脚期（踵離地から足趾離地）（矢状面） _____

0 = 正常（足関節背屈位から底屈 10° までの十分な蹴り出しがある）

1 = 足趾離地で蹴り出しが部分的または弱い

2 = 足関節底屈が消失もしくは不足、蹴り出しがない

18. 足趾位置 _____

0 = 正常（正中位）

1 = 過度な足趾伸展

1 = 鉤趾（claw toe）

遊脚期

19. 体幹肢位/動的（矢状面） _____
- 0 = 正常（静止時のアライメントを保っている）
 1 = 体幹が □ 屈曲 < 30° もしくは □ 伸展 < 30°
 2 = 体幹が □ 屈曲 30° 以上 もしくは □ 伸展 30° 以上
20. 体幹肢位/動的（前額面） _____
- 0 = 正常（静止時のアライメントを保っている）
 1 = 体幹が □ 右側屈 < 30° もしくは □ 左側屈 < 30°
 2 = 体幹が □ 右側屈 30° 以上 もしくは □ 左側屈 30° 以上
21. 骨盤肢位（前額面） _____
- 0 = 正常（比較的的水平または遊脚側がわずかに低い）
 1 = 軽度の臀部挙上
 2 = 中等度から重度の臀部挙上
22. 骨盤肢位（矢状面） _____
- 0 = 正常（前後傾中間位）
 1 = 骨盤前傾
 1 = 骨盤後傾
23. 振り出し時の骨盤回旋（横断面） _____
- 0 = 正常（振り出し開始時に後方回旋 5° から、遊脚終期に前方回旋 5° になる）
 1 = 骨盤回旋の減少
 1 = 過度な骨盤回旋
 2 = 骨盤回旋の消失
24. 股関節屈曲（矢状面） _____
- 0 = 正常（遊脚初期で股関節屈曲 0° から最大 35° になり、遊脚終期で 25° に減少する。股関節内外転は正中位）
 1 = 股関節屈曲位で遊脚が始まり、正常に屈曲する（35° まで）
 1 = 股関節最大屈曲 > 10° だが < 30°
 2 = 股関節最大屈曲 > 10° だが < 30° で、股関節外転位（分回し）
 2 = 股関節最大屈曲 > 10° だが < 30° で、股関節内転位（はさみ足）
 3 = 遊脚を通して屈曲 0° - 10°
 3 = 股関節屈曲が > 35° （過度な屈曲）
25. 股関節回旋（前額面） _____
- 0 = 正常（正中位を保持している）
 1 = 異常、内旋
 1 = 異常、外旋

26. 膝関節－遊脚初期（矢状面） _____
0 = 正常（膝関節屈曲 40° - 60° ）
1 = 膝関節屈曲が少なくとも 15° だが $<40^{\circ}$
2 = 膝関節屈曲 $<15^{\circ}$
3 = 膝関節が全く屈曲しない
27. 膝関節－遊脚中期（矢状面） _____
0 = 正常（膝関節屈曲 $60^{\circ} \pm 4^{\circ}$ ）
1 = 膝関節屈曲 45° - 55°
2 = 膝関節屈曲 25° - 45°
3 = 膝関節屈曲 0° - 25°
28. 膝関節－遊脚後期（矢状面） _____
0 = 正常（屈曲位から最大伸展位になる）
1 = 膝関節屈曲位で始まり、常に屈曲位
1 = 膝関節伸展位で始まり、常に伸展位
29. 足関節の動き（矢状面） _____
0 = 正常（立脚後期[足趾離地]で最初に足関節底屈し、遊脚中期で中間位、初期接地直前でわずかに背屈位となる）
1 = 遊脚中期で足関節中間位だが、遊脚後期では背屈しない
2 = 遊脚中期で足関節中間位にならず、遊脚後期では背屈にならず、終始底屈位
30. 足関節内反（前額面） _____
0 = 正常（足関節内外反中間位のままである）
1 = 遊脚中に足関節内反位である
31. 足趾肢位（矢状面） _____
0 = 正常（中間位である）
1 = 足趾伸展が不十分
1 = 鉤趾（claw toe）

トータルスコア： _____ /62 点

コメント